

旧七月十日也

一廿一日庚戌 金

卯より曇天、東風
大回風也、

(中略)

後追々午地にし風
与なり、矢張巖
敷吹、真_ニ風雨共

此風中元卜警

巖敷、此昔子

役所、徒罪場

年位之風_与も

なり、罪人多く

評儀ス、拙者ハ其

入レ参候処、時も

年之風承知致

アレ、倒レ大騒動、

し居、凡似りと考ル

即死者式人、其

宵頃より追々雨風

外大けが人六十

とも和となり、夫より

人余り之由、委細

亦出水トなり、真に

敷事ハ未夕不

急水大水_{ニ而}流

承候なり

レもの人も流

候由、丁丈午前後

本川仍橋落千流ル、龍川

亦切レ損し後追々吉嶋新開

中土手切レ損シ水這入、当所

下モ丁迄ふちトなり、真_ニ古

今希なる次第也、(後略)